

【担当課：副首都推進局】

議 題	大阪の副首都化について
日 時	平成 29 年 1 月 23 日(月) 10 時 00 分～12 時 15 分
場 所	大阪市役所 5 階 会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与) 出口特別参与 (職員等) 副首都推進局副首都企画推進担当部長、企画担当課長 大阪府政策企画部企画室計画課参事 等
論 点	民都(フィランソロピーの促進、非営利セクターの活性化)の今後の取組み方向について
主 な 意 見	<p>「副首都化に向けた中長期的な取組み方向(未定稿)」内の、「民間活動促進の仕組みづくり」における第2の動脈のイメージ図はこれで良い。第2の動脈は決して小さい話として考えるのではなく、「動脈」と言えるくらい大きい柱として考えることが重要。</p> <p>非営利セクターの実状は、今までしっかりと見えていなかった部分もあるが、大阪が副首都化を目指すうえで、非営利セクターは大きな力になると考えている。</p> <p>○諸外国に比べて、日本ではあまり盛んでなかった、法人枠を越えた非営利セクターの連携など、新たな刺激を与えることで大きなイノベーションが起こりうると期待できる。</p> <p>「(仮称)大阪フィランソロピー会議」の検討にあたっては、非営利セクターの分野に注目している事を強く国内外に発信していくことが重要。</p> <p>今、世界で起こっているフィランソロピーの大きな動きは、100年に1度のものであり、この機会に大阪で非営利セクターの再評価をすることに大きな意味がある。</p> <p>東京には日本の全国組織はあってもアジアの国際組織は海外に取られている。戦略をもってアジアの国際組織を大阪に作っていけば非常にインパクトがある。</p>
結 論	ご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。
資 料	副首都化に向けた中長期的な取組み方向(未定稿)
関 係 所 属	